

## 整備優先度の考え方

草津川跡地整備事業は長期にわたって実施する必要があります。事業化にあたっては「関連事業との相乗効果」「防災機能の強化」「事業の効率性」「民間活力や市民活動の導入」などの観点から優先度を総合的に判断し、事業を実施するものとします。

### ■「関連事業との相乗効果」の観点

草津川跡地周辺における、中心市街地活性化などの関連事業との相乗効果を考慮し、効果が高いことを優先に事業化を進めます。

### ■「防災機能の強化」の観点

草津川跡地における防災機能の強化につながる動線の連続性や周辺の防災拠点との連携を図ることを優先に事業化を進めます。

### ■「事業の効率性」の観点

区間毎の事業内容を踏まえ、土工事の配分などを計画的に行い、事業の効率性が高まることを優先に事業化を進めます。

### ■「民間活力や市民活動の導入」の観点

草津川跡地利用にあたっては、持続可能な運営管理を目指すことから、民間活力や市民活動の導入が必要であり、気運が高まっていることを優先に事業化を進めます。

優先整備地区検討表

	区間②	区間③	区間④	区間⑤	区間⑥
<p>平面図・標準断面図</p>	<p>隣接する周辺地域で建設している学校給食センターの整備と一体的に事業推進することで、学校への給食配給以外に、農園実習と連携した食育などの醸成など様々な活用が期待できる。 区間②で生産された食材等の産品を、区間⑤のカフェやマルシェで販売するなどの連携が図れる。</p>	<p>隣接する弾正公園（都市公園）の機能を充足させるとともに、草津川跡地に整備される広場や散策路へ、公園来訪者を誘導することにより、近年の社会ニーズのひとつでもある健康志向への対応が図れる。</p>	<p>中心市街地に接し、住宅や商業施設に近接しているため市民へのサービス度は高く、喫緊の課題である中心市街地活性化との相乗効果が期待できる。 野村運動公園周辺などと一体的な土地利用を図ることでスポーツ機能の充実や魅力的でにぎわいのある空間創出が期待できる。 民間活力を積極的に活用することにより質の高い公共サービスの提供や効率的で経済的な管理運営が期待できる。</p>	<p>市民をはじめ多くの方が、回遊するためににぎわい拠点とすることにより、喫緊の課題である中心市街地活性化との相乗効果が期待できる。 桜並木や堤防存置などを活かした歴史空間の整備により花見や宿場まつりなど草津市を代表する様々なイベントに対応でき、にぎわいの創出が早期に期待できる。</p>	<p>国道1号の改良、栗東市との協力などにより、事業の進捗がスムーズになる。</p>
<p>関連事業との相乗効果</p>	<p>隣接する周辺地域で建設している学校給食センターの整備と一体的に事業推進することで、学校への給食配給以外に、農園実習と連携した食育などの醸成など様々な活用が期待できる。 区間②で生産された食材等の産品を、区間⑤のカフェやマルシェで販売するなどの連携が図れる。</p>	<p>隣接する弾正公園（都市公園）の機能を充足させるとともに、草津川跡地に整備される広場や散策路へ、公園来訪者を誘導することにより、近年の社会ニーズのひとつでもある健康志向への対応が図れる。</p>	<p>中心市街地に接し、住宅や商業施設に近接しているため市民へのサービス度は高く、喫緊の課題である中心市街地活性化との相乗効果が期待できる。 野村運動公園周辺などと一体的な土地利用を図ることでスポーツ機能の充実や魅力的でにぎわいのある空間創出が期待できる。 民間活力を積極的に活用することにより質の高い公共サービスの提供や効率的で経済的な管理運営が期待できる。</p>	<p>市民をはじめ多くの方が、回遊するためににぎわい拠点とすることにより、喫緊の課題である中心市街地活性化との相乗効果が期待できる。 桜並木や堤防存置などを活かした歴史空間の整備により花見や宿場まつりなど草津市を代表する様々なイベントに対応でき、にぎわいの創出が早期に期待できる。</p>	<p>国道1号の改良、栗東市との協力などにより、事業の進捗がスムーズになる。</p>
<p>防災</p>	<p>区間②に道路ができることで、県が整備する区間①の管理用通路と動線がつながり防災機能が向上する。 隣接する給食センターは、災害時の炊き出し拠点として活用できる。</p>	<p>自衛隊災害派遣部隊の受け入れ拠点である弾正公園の機能充足と合わせ、一体的に利用できる広場が整備されることで、市域の防災機能の向上が図れる。</p>	<p>広域避難所である野村運動公園との一体的な土地利用の実現により市域の防災機能の向上が図れる。</p>	<p>中心市街地の中でも特に人口集中が著しい区間であり、整備された広場や道路空間は、災害時において一次避難地や災害時の拠点として利用でき、整備効果は大きい。</p>	<p>動線が整備されることにより、市域の防災機能の向上が図れる。 隣接する、河川防災ステーションとの連携により防災機能の向上が図れる。</p>
<p>効率率業</p>	<p>自工区で土量バランスが図れる。</p>	<p>搬入土（約90,000m<sup>3</sup>）を受け入れることが可能であり、搬出土の発生する区間と進捗を合わせることで事業効率が高くなる。</p>	<p>搬出土（約210,000m<sup>3</sup>）が発生し、盛土が必要な区間と進捗を合わせることで事業効率が高くなる。</p>	<p>搬出土量が少ないため、どの工区とも組合せが可能である。</p>	<p>搬出土量が少ないため、どの工区とも組合せが可能である。 国道事業や、栗東市の事業と一体的に行う事で、整備費の削減につながる。</p>
<p>参市加民</p>	<p>学校活動の暫定利用があり、市民参加の土台がある。 区間内に、市民農園が開設されており、市民ニーズも高く市民参加の土台がある。</p>	<p>町内会による暫定利用があり、市民参加の土台がある。</p>	<p>市民クラブによる暫定利用があり、市民参加の土台がある。</p>	<p>草津駅を中心とした、中心市街地に在り、多くの市民が草津川跡地を利用しており、市民参加の土台がある。 市民クラブ、NPO、町内会による暫定利用があり、市民参加の土台がある。</p>	<p>NPOや町内会による暫定利用があり、市民参加の土台がある。</p>
<p>整備の課題</p>	<p>堤外民有地の整理が必要である。</p>	<p>完成させるためには、約90,000m<sup>3</sup>の土が必要である。 堤外民有地の整理が必要である。 弾正公園の機能充足は、区間④の野村運動公園整備計画との調整が不可欠である。</p>	<p>残土（約210,000m<sup>3</sup>）の処理方法の検討が必要である。 民間事業との連携、まちづくりに関する協定等の整備が必要である。 野村運動公園整備計画には、区間③の弾正公園の機能充足との調整が不可欠である。</p>	<p>残土（約26,000m<sup>3</sup>）の処理方法の検討が必要である。</p>	<p>残土（約18,000m<sup>3</sup>）の処理方法の検討が必要である。 栗東市との調整が必要で、草津市単独での事業進捗ができない。</p>
<p>構想時優先度</p>	優先度1 区間②⑤⑥の組合せ				
<p>優先度</p>	<p>整備内容（テーマ性）、周辺施設や区間⑤との関連から相乗効果が期待でき、防災機能の強化など、優先度は高い。 <b>優先度1</b></p>	<p>完成させるためには、多くの土が必要になり、区間④からの搬入土受け入れが整備費節減につながる。（区間③④同時施工が好ましい。） <b>優先度2</b></p>	<p>中心市街地との連携による相乗効果や防災機能向上など整備効果は高いが、事業効率では、区間③への土の搬出が整備費節減につながる。（区間③④同時施工が好ましい。） <b>優先度2</b></p>	<p>中心市街地活性化と相乗効果や、周辺市街地の防災機能の向上など、優先度は高い。 <b>優先度1</b></p>	<p>事業の進捗において、隣接する栗東市と歩調を合わせる必要がある。 <b>優先度2</b></p>

※区間⑥については、栗東市との調整が付き次第、前倒して事業を実施する。